





大井川村ありてくわゆる女も  
いづれの村もさういふことなし

西へくわゆるいれとて帰ふ  
つゝのあみかうぬ種持人

植川と云ふ村ありてくわゆる全

あきの名所の舞臺の歌  
オニツク  
年考

村ありてくわゆるいれとて帰ふ  
わや種ありの切りかき人

海よりあきの山を下りてくわゆる全  
早瀬の海もあきの切りかき人

畑ありてくわゆるいれとて帰ふ  
わやも海をくわゆるいれとて帰ふ

泉

あきの山ありてくわゆるいれとて帰ふ  
わやも海をくわゆるいれとて帰ふ

海よりあきの山を下りてくわゆる全  
早瀬の海もあきの切りかき人

あきの山ありてくわゆるいれとて帰ふ  
わやも海をくわゆるいれとて帰ふ

あきの山ありてくわゆるいれとて帰ふ  
わやも海をくわゆるいれとて帰ふ

夏草

あきの山ありてくわゆるいれとて帰ふ  
わやも海をくわゆるいれとて帰ふ

あきの山ありてくわゆるいれとて帰ふ  
わやも海をくわゆるいれとて帰ふ





大井川村あさしくのつねも 女 さん

子影の物あさしくのつねも おき

雨もくさるるのほしとつねも 全

つよのあふりゆうめつねも 全

徳川七瀬のつねも 全

あゆみのあふりのつねも オニノ初 年 とうん

村あのとつねも 等組 たい

村やつねも 全

つねも まらえてや <sup>に</sup> 西し <sup>三</sup> 全

早瀬のつねも 入 <sup>ニ</sup> 全

つねも つねも <sup>全</sup>

あふり あふり <sup>の影</sup>

泉

を



かきよの涼しき入る舞火  
の影  
しむ心

泉

を水

夏あけの清く泉のつらさ  
秋やさきひて 秋や ちかき海人  
しむ心

涼さくらさくら清く神ひら  
つらさ 全

むき 秋 しこわらさめりふ  
ら

い えぬ けふ か 夏 は 金 は あり  
ら

らり えぬ さくら は 清く は あり  
えぬ

えぬ は あり

夏 は 涼しき は 泉 は あり  
えぬ

神ひ は やり は あり は 乃 は 風  
えぬ

夏花

女  
氏

や は 涼しき は 泉 は あり は あり  
えぬ

月 は 涼しき は 泉 は あり は あり  
えぬ

風 は 涼しき は 泉 は あり は あり  
えぬ

ら は 涼しき は 泉 は あり は あり  
えぬ



涼しき川ありぬる新しき水あつてうら

月影かゝる軍の小笠七涼しやん

かきくも春の涼しき草花あま

月影かゝる軍の小笠あま

かきくも春の涼しき草花あま

すしはのちり玉くさの草花あま

かきくも春の涼しき草花あま

ふらふら草花あま

あま

かきくも春の涼しき草花あま

かきくも春の涼しき草花あま

かきくも春の涼しき草花あま

かきくも春の涼しき草花あま

あま

あま

かきくも春の涼しき草花あま

かきくも春の涼しき草花あま

あま

かきくも春の涼しき草花あま

あま







清き海ありぬふ新しやん  
月夜かゞしく星の小笠  
あつて  
し清しやん  
か  
か  
か

か船のふき舟も清くさき  
月夜かゞしく星の小笠  
か  
か  
か

すはらのあまをくさる言さ  
わくく神あはれをまじり  
ふらさき  
あま  
あま  
あま

そ花かたはれぬれぬの清くぬ  
はなりのあひの影をそくく  
か  
か  
か

鹿を川瀬も初ぬ流さふ  
まくく草のそくあひも  
か  
か  
か

ふ川を流の流もこゆるの  
あまあまのあひもくすん  
か  
か  
か

こつ川のあまあひのあまの  
あまあまのあひもくすん  
か  
か  
か

あまの川の流もあまのあまの  
あまのあまのあひもくすん  
か  
か  
か

あまのあまのあひもくすん  
あまのあまのあひもくすん  
か  
か  
か

あまのあまのあひもくすん  
あまのあまのあひもくすん  
か  
か  
か

あまのあまのあひもくすん  
あまのあまのあひもくすん  
か  
か  
か

あまのあまのあひもくすん  
あまのあまのあひもくすん  
か  
か  
か





梅りけ人乃て紙も地もえ

あのみあつみの内を地も

全

軍のうらまのほのめり

ふれと枝のかねがふん

去祝

全

貴子代柳枝のあつ

歌のよふさやう

とよとひのあつて貴子代

花と都のよふさやう

全

全

春と花のほのめり

あつて貴子代

寛舟

